

# 令和元年度 本部事務局事業報告

## 1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めて参りました。令和元年度においても、「みつばすみれ学園」、「すずらん」の障害児・者の直営2施設をはじめ、「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」を和光市から委託を受け運営するとともに、朝霞市の指定管理者として「特別養護老人ホーム朝光苑」、朝霞市からの受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

### 福祉会を取り巻く環境変化に対応

(法人運営について)

令和元年6月に、役員(理事・監事)の任期満了に伴う改選を行いました。平成29年の改正社会福祉法施行後、初めての改選であったことから、関係する制度に留意し適切な選任手続きを行いました。なお、理事については、法人運営に施設管理者の意向をより反映させるため、施設長からの選出を1人増員し2人に改め、計9人体制といたしました。

また、評議員についても、退任による後任者の選任が計3人ありましたが、いずれも遅滞なく手続きを進めることができました。

(職員の処遇改善について)

令和元年10月に介護報酬が改正され、介護職員等の処遇改善を目的として新しい加算制度が始まりましたが、当法人においても加算によって得られた財源を基に、介護等特定処遇改善手当を創設し、職員の処遇改善を図りました。対象職種は、介護職員や生活支援員等の直接処遇職員で、対象者数は、非常勤職員を含む全体の45%にあたる約80人(常勤換算数)となり、1人当たり最大で年間約25万円の給与の増額となりました。

(職員の採用関係について)

法人ホームページやInstagram等を用いた求職者への積極的な情報提供により、年間で、新卒者1人を含む9人の採用となりました。

採用活動としては、各種学校への訪問や就職フェアへの参加を継続し、学生に対して法人の魅力をアピールする機会に努めました。また、法人の認知度を高める取り組みとして、新たに夏休みを利用した短期アルバイトの受け入れを企画しましたが、実績には結びつかず、学生への周知方法について課題が残る結果となりました。

(多様な働き方実践企業のプラチナ認定について)

多様な働き方実践企業とは、埼玉県が仕事と子育て等の両立を支援するため、多様な働き方を実践している企業を認定する制度です。当法人については、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進に積極的に取り組んでいるとして、令和元年12月にプラチナ認定企業に認定されました。

## 2 理事会等の開催

### (1) 理事会

開催年5回	開催日	決 議 事 項
第151回	5月28日	第1号議案 平成30年度決算の承認について 第2号議案 定時評議員会の開催について 第3号議案 朝光苑介護保険システムリースの契約締結について
第152回	6月14日	第1号議案 理事長の選任について
第153回	9月25日	第1号議案 介護等特定処遇改善手当支給規程の制定について 第2号議案 就業規程の一部改正について 第3号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について 第4号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第5号議案 すずらん運営規程の一部改正について 第6号議案 朝光苑運営規程の一部改正について 第7号議案 令和元年度補正予算について 第8号議案 朝光苑電話機リースの契約締結について 第9号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について
第154回	12月26日	第1号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について
第155回 (書面開催)	3月27日	第1号議案 保育園における待遇改善手当支給規程の制定について 第2号議案 職員給与規程の一部改正について 第3号議案 令和元年度補正予算について 第4号議案 令和2年度事業計画について 第5号議案 令和2年度予算について 第6号議案 評議員会の開催について 第7号議案 施設長の任免について 第8号議案 朝光苑宿直警備業務委託に係る契約締結について 第9号議案 朝光苑清掃業務委託に係る契約締結について 第10号議案 朝光苑デイサービスセンター運行管理業務委託に係る契約締結について 第11号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について 第12号議案 朝光苑エレベーター保守に係る契約締結について

### (2) 評議員会

開催回数	開催日	決 議 事 項
定 時 評議員会	6月13日	第1号議案 平成30年度決算の承認について 第2号議案 役員（理事・監事）の選任について
評議員会 (書面開催)	3月30日	第1号議案 理事の選任について

### (3) 評議員選任・解任委員会

開催回数	開催日	決 議 事 項
第1回	9月25日	評議員の選任について
第2回	12月26日	評議員の選任について

### 3 監事による監査

開催回数	開催日	内 容
3回	5月27日	決算監査 対象：全施設
	12月23日	中間監査 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	1月17日	中間監査 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

### 4 各種試験

#### (1) 職員採用試験（令和元年度中の採用者 9人）

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
保育士	面接	令和2年 1月10日	応募者：1人 採用者：1人
生活支援員		令和2年 3月 5日	応募者：2人 採用者：1人
介護職員	面接	平成31年 4月 4日	応募者：1人 採用者：1人
		令和元年 5月17日	応募者：1人 採用者：1人
		令和元年12月11日	応募者：1人 採用者：1人
		令和元年12月16日	応募者：1人 採用者：1人
		令和2年 1月 9日	応募者：1人 採用者：1人
		令和2年 2月18日	応募者：1人 採用者：1人
看護師	面接	令和2年 2月18日	応募者：1人 採用者：1人

#### (2) 職員昇任審査・試験

審査・試験(方式)	内 容	審査日・試験日	結 果
施設長昇任審査(推薦)	勤務評価	令和元年2月10日	対象者：4人 合格者：1人
主幹級昇任審査(推薦)	勤務評価	令和元年2月 5日	対象者：5人 合格者：1人
主査級昇任試験(応募)	勤務評価 面接・論文	令和元年2月 6日	応募者：2人 合格者：1人

5 職員数 (令和2年3月31日現在/単位:人)

( ) は常勤換算の人数

数

施設名	理事長 施設長	事務員		保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員		看護職員		栄養士	児童発達支援管理 責任者 サビ管理責任者 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 運転手等			合計	
		正規	パート	正規	パート	正規	パート		正規	正規	パート	正規	パート
本部事務局	1	2	1(0.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1(0.8)
みつばすみれ学園	1	1	—	5	13(9.3)	1	—	—	3	8(5.8)	—	11	21(15.1)
すずらん	1	1	—	11	19(14.8)	1	1(1.0)	—	1	—	—	15	20(15.8)
ほんちょう保育園	1	1	—	10	20(14.2)	1	—	※2	—	—	—	13	20(14.2)
にいくら保育園	1	※1	—	13	19(13.4)	1	—	1	—	—	—	16	19(13.4)
朝光苑	1	2	2(2.0)	24	16(13.8)	4	3(2.8)	1	11	3(2.2)	—	43	24(20.8)
合計	6	7	3(2.8)	63	87(65.5)	8	4(3.8)	2	15	11(8.0)	—	101	105(80.1)

※1 ほんちょう保育園と兼務

※2 にいくら保育園と兼務

# 令和元年度 みつばすみれ学園事業報告

## 1 事業の概要

平成31年度（令和元年度）事業計画に基づき、運営に取り組んで参りました。

### 利用状況

療育を希望する児童の受け入れを積極的に行うことに努め、年間の契約児童数は平成30年度の118人に対し123人と増加しました。定員に対する利用率は昨年度80.3%に対し78.1%でした。減少の原因は体調不調、入院等の他、2月以降の新型コロナウイルス感染防止対応等による欠席が重なったためです。

利用児の構成は幼稚園、保育園を利用しながら学園を利用する（併行利用）児童が半数以上を占めます。令和元年度は午後のクラスを1増し、併行利用の受け入れを拡充しました。

また、近年、低年齢児（0～2歳）の学園利用や、在宅訪問のニーズも高くなっています。

低年齢クラスは、予定クラス人数を超える希望者があり、利用開始時期を調整する状況でした。

### 専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による日々の療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等、専門職による幅広い支援を行いました。中でもST（言語聴覚士）が個々の活動の様子を観察し、口腔機能を高める指導を定期的に行うことで、発声、発語につながる訓練が行えました。

職場内研修では、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）の専門職による職員向け学習会を実施し、障害の違いによる対応方法の留意点、成長に繋がるはたらきかけなどを学び、理解を深め、支援の質の向上に努めました。

また、当学園及び保護者による児童発達支援の自己評価を行い、運営・療育について現状の課題を明らかにし、改善に取り組みました。

### 地域支援の強化

近年、低年齢児の受け入れや保育所・幼稚園に在籍している支援が必要な児童の増加、在宅児童への支援などが継続した課題となっております。当園では、地域のニーズに対応すべく、県からの委託事業「障害児等療育支援事業」を継続実施するほか、「発達障害地域療育支援センター事業（南西部地域療育支援センター）」との連携などを通して、専門職による支援の提供を行いました。また、地域の保育所・幼稚園への訪問、来訪を密に行い、職員の障害特性理解の促進に努めて参りました。その結果、「障害児等療育支援事業」では、在宅児童への職員派遣が25件、外来での相談件数などが63件、施設内の療育見学や保育所・幼稚園への職員派遣・情報交換などが107件となり、順調に運営展開をしております。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(2ヶ月1回)理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ)交流保育(朝霞市＝北朝霞保育園・泉水保育園、志木市＝北美保育園)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
6月	なし
7月	七夕、父親学級
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、園外プール
9月	祖父母参観
10月	運動会(宗岡第三小体育館)
11月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	もちつき会、クリスマス会
1月	父親学級
2月	豆まき、発表会、お別れ遠足(新型コロナウイルス感染対策のため中止)
3月	お別れ会、卒園式(新型コロナウイルス感染対策のため内容変更で実施)

### (2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ②通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①埼玉県(発達障害者支援体制整備検討委員会)、朝霞・志木・和光市の関係会議(要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会、障害者プラン推進委員会等)へ出席 ②和光特別支援学校評議員会議へ出席 ③見学・実習、中学生職業体験(宗岡中、志木中)の受入れ ④地域の作品展等へ出展(太陽展、志木市総合福祉センターまつり、向陽祭、チャレンジド作品展等) ⑤施設便りの発行・配布(月1回)

## 3 利用状況

### 児童在籍状況(契約児童)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	元年1月	2月	3月	合計
朝霞市	45	45	47	49	50	52	57	57	56	57	58	58	631
志木市	28	28	32	33	34	34	34	34	36	36	36	36	401
和光市	19	20	20	20	21	22	22	22	22	22	23	23	256
合計	92	93	99	102	105	108	113	113	114	115	117	117	1,288
入所者数	14	6	6	4	3	2	3	3	2	2	0	0	45
退所者数	0	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	31	37

#### 4 外部協力・援助等一覧

##### (1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

R01/07/27	朝霞市北部地区民生・児童委員協議会	5,000円
R01/07/27	朝霞ライオンズクラブ	5,000円
R01/07/27	荒張 勝男(味よし)	2,500円
R01/07/27	柴崎 健司(うさぎや)	5,000円
R01.12.27	栗原 友介	500,196円
合計	5件	517,696円

##### (2) ボランティア受入れ

通年(製作・保育・付き添い児)	個人(9人)	延べ(154人)
07/27 夏祭り	9団体 個人(3人)	延べ(106人)
12/03もちつき大会	1団体	延べ(15人)
12/20クリスマス会	2団体	延べ(22人)

##### (3) 見学研修等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	4日	4機関	9人
	学園療育についての見学と体験	25日	16機関	76人
	学園利用児の様子観察	4日	4機関	7人
	次年度就学児・移行児の様子観察	2日	2機関	5人
	学園見学(入園希望者、電話相談など)	80日	—	110人
	学生の受入(中学生職業体験、卒業論文など)	9日	3機関	33人
派遣	育成保育対象児の様子観察	1日	1機関	1人
	フォローグループの援助	11日	1機関	11人
	学園利用児の様子観察・情報交換	40日	14機関	54人
	学園概要・療育の説明	1日	1機関	100人
	巡回相談(学園以外)	18日	9機関	21人

##### (4) 実習受入れ

中学生職業体験	延べ9日	3学校	延べ30人	志木中・宗岡中・朝霞1中
保育士養成実習	延べ123日	10学校	延べ123日	星美学園短期大学、十文字学園女子大学 道灌山学園保育福祉専門学校、淑徳大学 淑徳大学短期大学部、埼玉福祉・保育専門 学校、草苑保育専門学校、東京家政大学短 期大学、埼玉東萌短期大学
教員介護等体験 学習	延べ5日	1学校	延べ5人	埼玉学園大学
看護実習	延べ3日	1学校	延べ34人	朝霞准看護学校

## 5 障害児等療育支援事業実績（療育相談利用状況）

【職種】児童指導員、保育士

【事業内容】在宅障害児（者）の地域生活支援。療育相談（電話相談／来園相談）、訪問療育、健診／PT訓練、幼稚園・保育所等との相互支援等（埼玉県委託事業）  
（延べ回数）

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
朝霞市	0	0	33	0	0	59	92	22
志木市	0	0	14	0	0	8	22	13
和光市	25	0	16	0	0	23	64	24
新座市	0	0	0	0	0	7	7	3
その他	0	0	0	0	0	10	10	2
合計	25	0	63	0	0	107	195	64
	25		63					

## 6 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【職種】相談支援専門員

【事業内容】障害者（児）等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援  
対応件数（初回アセスメント件数）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	
新規計画請求	0	11	0	7	1	8	4	7	1	1	0	5	0	5	1	5	0	2	0	2	0	1	0	1	62
更新計画案請求	3	24	0	16	4	22	6	22	3	25	6	30	3	29	1	16	2	35	0	23	0	28	7	67	372
モニタリング請求	4	36	7	61	9	59	0	55	4	51	5	46	5	43	5	41	7	39	7	32	5	34	5	48	608
合計	7	71	7	84	14	89	10	84	8	77	11	81	8	77	7	62	9	76	7	57	5	63	12	116	1042

特：特定相談支援

児：障害児相談支援

## 7 南西部地域療育センターの実績

【職種】臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

【事業内容】専門職が個別療育やご家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）

実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
連絡件数 合計	13	28	14	6	9	14	6	33	13	14	8	7	165
個別療育(A)	73	82	83	85	80	73	81	84	85	78	76	46	926
結果と方針の説明(B)	8	6	7	3	9	8	8	7	2	7	3	5	73
(A+B)	81	88	90	88	89	81	89	91	87	85	79	51	999

# 令和元年度 すずらん事業報告

## 1 事業の概要

平成31年度(令和元年度)事業計画に基づき、運営に取り組んで参りました。

### 利用される施設となる

年度末の利用契約数は57名であり、利用者の特性や家庭背景に対応すべく、個別送迎体制や利用時間延長等の利用促進への取り組みを継続実施してきました。欠席数増加の傾向としては利用者の高齢化等に伴う短期入所利用の増があげられ、年間利用率は105.8%であり、前年度からは2%減少の結果となりました。

### 個別支援及び介護・相談体制の充実

個別対応に重点をおき、本人の意思決定を支援する取り組みのため、利用者の反応や感情の表出を十分に待ち、その人本来の力を引き出せるような支援環境づくりに努めました。

個別支援計画書作成・アセスメントにおいては、本人・保護者に対して十分に時間をとり、また、保護者と施設間連絡会や個別面談を通じて、家庭の状況、利用ニーズの把握に努め、担当する相談支援専門員との連絡を密接にし、情報の共有化を図りました。

### 開設20周年事業の報告

開設20周年を迎え、幾つかの周年事業を実施いたしました。

主な事業として ①20周年記念式典 ②各種行事時に周年に係るイベントの実施 ③保護者、歴代職員等からの寄稿をまとめた記念文集の発刊 ④記念Tシャツ、タオルの販売等を行い、年間を通じて利用者、ご家族、地域、関係機関の方々と共に節目を祝い、一体感を共感できるよう取り組みを行いました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、製作品販売、地震/火災避難訓練、身体測定、嘱託医診察等(内科、精神科、整形外科)、音楽療法(隔月)、理学療法(週1回)
4月	開設20周年記念式典&出発式 歯科検診
6月	スポーツ&レクリエーション大会 検便(腸内細菌検査)
7月	七夕 夏祭り(みつばすみれ学園と合同開催)
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市) スイカ割り
9月	定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
10月	検便(腸内細菌検査)
11月	すずらん祭り
12月	もちつき大会 クリスマス忘年会
1月	初詣 書き初め
2月	豆まき カラオケ演芸大会
通年	希望制小旅行/年間10回 延べ47人 東映アニメーションスタジアム NHKスタジオパーク 豊島園 ららぽーと富士見 川越散策 サンシャイン水族館 所沢航空公園 カラオケ 等

## (2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年2回) ※新型コロナウイルス情勢により3月末に予定していた第3回目を中止とした。 ⑧衛生委員会 ⑨身体拘束廃止/事故防止委員会 ⑩医療的ケア委員会
関係機関会議	①関係市担当者と施設間連絡会議(年2回) ②4市医療職ネットワーク会議(年3回)

## 3 利用状況

### (1) 市別在籍状況(契約利用者数)

(月初在籍数:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	合計
朝霞市	18	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	17	209
志木市	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
和光市	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	58	57	57	57	57	57	57	58	58	58	58	57	689
入所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4

### (2) 障害程度別内訳

(H31.4月末)

	㉠	A	B	判定無し	計
療育手帳(知的判定)	47	7	2	2	58
精神保健手帳の併所持	1	0	1	0	2
身体障害者手帳の併所持	28	1	1	2	32

	1種1級	1種2級	1種4級	2種1級	2種4級	2種5級	計
身体障害 等級内訳	19	9	1	0	1	2	32

※車椅子使用者20人

## 4 外部協力・援助等一覧

### (1) 寄附一覧(現金)

一敬称略一

期 日	寄 附 者	金 額	備 考
04/27(20周年式典)	荒船光枝	10,000円	
06/18(スポーツ&レクリエーション大会)	和光ライオンズクラブ	5,000円	
07/27(夏祭り)	朝霞市北部地区民生・児童委員	5,000円	みつばすみれ学園と折半
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円	
	味よし	2,500円	
	柴崎健司(うさぎや)	5,000円	
11/09(すずらん祭り)	志木ライオンズクラブ	10,000円	
	和光ライオンズクラブ	5,000円	
12/27	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円	
合 計	9 件	297,598円	

## (2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施 朝光苑車いす清掃活動(毎週)
06/27	志木市障がい者理解促進事業イベント(施設紹介と作品展示)
09/29	朝光苑まつり作品販売
11/03	すわ緑風園祭り展示(施設紹介と作品展示)
11/08	人権フェスティバル(川口市)作品販売
12/03～07	障害者週間：和光市チャレンジド展示

## (3) 実習生受入れ

中学生職業体験	延べ 6日	2 学校	延べ 21人	志木中学校・朝霞第一中学校
保育士養成実習	延べ 22日	1 学校	延べ 22人	秋草学園短期大学
看護実習	延べ 3日	1 学校	延べ 34人	朝霞准看護学校
介護福祉士養成	延べ 4日	1 学校	延べ 4人	日本キャリアパスアカデミー
他施設	延べ 1日	1 施設	延べ 2人	NPO法人なかよしネット

## (4) 施設見学者(関係機関)

05/07	所沢おおぞら特別支援学校教諭	05/22	和光特別支援学校教諭
06/17	埼玉県療育支援事業 県発達障害総合支援センター	08/06	和光特別支援学校教員研修 4人
08/07	和光特別支援学校教員研修 4人	08/17	和光南特別支援学校教員研修 1人
10/17	志木市市民後見人養成講座 施設実習 5人	10/25	志木市市民後見人養成講座 施設実習 5人

## (5) ボランティア受入れ

通 年(茶道・組むも・畑)	個人(4人)	延べ104人	06/02 (スポレク大会)	個人(8人)	延べ 8人
11/09(すずらん祭り)	5団体 個人(15人)	延べ71人	12/03 (もちつき)	1団体 (18人)	延べ18人
02/16(カラオケ演芸大会)	個人(2人)	延べ 2人			

## (6) その他

年12回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
------	-----------------------------------

## (7) 職員研修実績

区 分	内 容	参加者
外部派遣	①埼玉県社会福祉協議会新任職員パック研修(全6日間)	1名
	②埼玉県：県内中小企業新入社員合同入社式研修	1名
	③令和元年度埼玉県サービス管理責任者等基礎研修	1名
	④埼玉県社会福祉協議会中堅職員キャリアパス研修	1名
	⑤埼玉県社会福祉協議会虐待防止研修	1名
	⑥全日本自閉症支援者協会発達障害支援スーパーバイザー養成研修	2名
	⑦医療的ケア教員講習会	1名
	⑧福祉経営研究機構：社会福祉法人の経営力強化～財務会計と管理	1名
	⑨埼玉県社会福祉協議会介護・保育記録の書き方研修	1名
	⑩喀痰吸引等研修(第3号)	2名
内部研修	①介護技術 ②虐待防止 ③すずらんを語ろう(全3回実施)「事業創設からの理念」「これからの運営指針」「事例検討会」④職員勉強会(全11回) ⑤視察研修(外部施設見学：3カ所)	

# 令和元年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

## 1 事業の概要

令和元年度事業計画にあげた下記の目標に基づいて取り組んできました。

### 安全に配慮した環境提供と健やかな成長への支援

在籍児童95名、平日の利用率は98.2%で土曜日の利用は平均8.5人でした。園児や家庭の状況などを全職員で共有し支援するため、毎日午後もミーティングを行い保育環境を整えてまいりました。早朝から18時以降の時間外保育利用が在籍の約1/3で、年齢クラスの枠を越えた合同保育の時間帯の人数は少なめでしたが、配慮を必要とするお子さんの対応として職員を配置し、安全確保に努めました。また、保育の質の向上や環境整備の研修に参加し保育への取り入れを行ってきました。

### 人との関わりの中で自分と人を大切にする心を育てる

集団経験の少ない0・1歳児は環境変化の影響を受けやすいため、個々のリズムに併せて丁寧に関わりその子らしさを受け止め保育してきました。2歳児は身の回りのことを自分でやりたい気持ちの育ちを大切に、成功体験を積むよう見守り、思い通りにならない時に声を掛け接しました。3歳以上児へは、言葉で自分の気持ちを表現し、意見を出し合い相談して物事を決める経験が出来るように促しました。またお年寄りとの交流や園を利用する障害をもった一時保育のお子さん達との関わりも大切にしてきました。

### 様々な体験を通し豊かな感性と創造性を培う

既存の遊具以外に可動遊具を用意し、お子さん達が自由に組み合わせて遊びを展開出来るよう工夫をしました。また、草花や虫、木の実など園庭遊びや散歩などで自然に触れ、部屋に飾ったり廃材と組み合わせて作品を作るなど、興味を拓ける保育を展開しました。

食育は、園庭の果実やプランターで育てた野菜を使って調理保育をしたり、ジュースを作ったり異年齢でのごっこ遊びに展開したり、給食の食材から栄養素を学ぶなど食の楽しさや大切さを知る機会としました。

### 施設と保護者が子どもの成長について共通理解をもつ

保護者に、園生活や取り組みについて理解を深めて頂く「保育参加」には87人が参加、さんま焼きやお餅つきなどにも参加を促し、実際のお子さんの姿を通して成長を実感して頂きました。また、個別面談で子育ての悩みなどを共有し、連携に努めてきました。

障害のあるチャレンジド保育対象児は2名、それ以外にも配慮の必要なお子さんがおり、保護者との面談や就学に向けての関係者との情報共有など継続的な支援が受けられるように準備しました。

地域の子育て世帯向けの園開放事業（あそぼう会）では、親子遊びや子育ての情報などを提供し、入園前の見学希望も78件ありました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回） 消防署等立合訓練（火災1回、防犯1回）、布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会）3～5歳児異年齢活動 園だより、クラスだより、献立表、保健だよりの発行
4月	5歳児親子遠足、4歳児親子遠足
5月	0～3歳児懇親会、4・5クラス懇談会

6月	ありがとうの日、お泊まり保育、じゃがいも掘り
7月	保育園運営委員会、七夕、流しそうめん、わっこまつり
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児）、大規模地震を想定した児童引き取り訓練
9月	お月見、おじいちゃんおばあちゃんの日
10月	運動会、サンマ焼き会
11月	焼き芋会、5歳児クラス懇談会
12月	お楽しみ発表会
1月	お餅つき会、0～4歳児クラス懇談会
2月	節分、保育園運営委員会
3月	ひなまつり、卒園式、県警指導班立ち会い防犯訓練、卒園思い出遠足 ※新型コロナウイルス感染症対策により、時間を短縮、内容変更し実施。

## （2）児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、尿検査（11月）、乳児健診（隔月）
- ・ 歯科検診（6月）
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師）

## （3）地域交流事業

- ・ あそぼう会（園開放事業）／年16回、延べ参加親子37組
- ・ 子育てミニ講座・入園前座談会（予約制で各2回実施）延べ参加親子 8組
- ・ 行事地域招待／わっこまつり、運動会
- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用（100冊／2回）
- ・ 本町保育クラブとの交流（年2回／5歳児）
- ・ 地域高齢者の喫茶サロン（ポケットステーション）との交流（年3回／5歳児）
- ・ 朝光苑デイサービスセンターと5歳児との交流（年2回／4歳児）
- ・ 絵本の読み聞かせ（ボランティア「絵本とお話の会」年9回）
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動

※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

## （4）特別保育事業

- ・ 保育参加（5／13～3／31 延べ参加人数87人）

## （5）実習生・ボランティアの受入れ

- ・ 保育実習生 2校・6人
- ・ 看護師実習 3人
- ・ 裁判所調査官研修 2日間・4人
- ・ 中学生・高校生職業体験 9人（市内中学校2校、和光高校）
- ・ ボランティア 7人 / 5歳児の茶道体験指導ボランティア 1人 年4回
- ・ 次世代育成事業 1人

※ 入園前の事前見学 78件（86人）

## （6）職員研修

- ・ 職場内研修 救急法講習、接遇研修、研修報告会  
接遇研修（にいくら保育園と合同開催）

- アンガーマネジメント研修（法人内研修）
- 派遣研修 県社協キャリアアップ研修（初任者、中堅職員）  
人材育成・児童虐待防止、ハラスメント、リスクマネジメント、アンガーマネジメント研修、てんかん学習会、保育内容専門研修、和光市主催保育士研修  
見学研修（みつばすみれ学園、他保育園と併設児童発達支援事業所）  
交換研修（にいくら保育園）

### 3 利用状況

#### (1) 児童在籍状況

年間開園日数 290日（土曜日 50日）

月初日在籍児童数（育成児童／2歳児1人・5歳児1人） （単位：人）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月
0歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
4歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
5歳児	22	22	21	21	20	20	20	20	21	21	21	21
合計	97	97	96	95	95	95	95	95	96	96	96	96

平均利用率	98.2%	土曜日平均利用者数	8.5人
-------	-------	-----------	------

※転居による退園 7月 1人（5歳児） 8月 1人（5歳児）  
途中入園 12月 1人（5歳児）

#### (2) 育成一時保育事業

発達の遅れに心配のあるお子さんを持つ保護者を対象に、リフレッシュなどの理由で一時的にお子さんをお預かりし保育する事業として、和光市から委託されています。

利用定員は1日3人最大週3日まで、平日の8:30～16:30（延長時間16:30～17:00）  
利用料金は4時間以内1,200円、その後1時間につき250円が加算されます。

（単位：人）

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合計
登録人数	15	15	15	16	16	17	16	16	16	17	18	18	—
利用延人数	32	23	29	36	42	27	28	26	23	28	33	36	363

平均利用率	50.6%
-------	-------

# 令和元年度 和光市にいくら保育園事業報告

## 1 事業の概要

令和元年度事業計画にあげた下記の目標に基づいて取り組んできました。

### 安心で安全な保育環境を提供する

在籍者数は4月当初よりほぼ127人で推移し、利用率は102.5%でした。大多数の方が早朝から時間外保育まで保育園を利用し、土曜日保育も平均15人ほどが利用されました。保育園内の環境整備や、保育士の適切な配置を行い、安心で安全な保育園を目指して取り組みました。保育士の質の向上を目的に研修機会も積極的に取り入れました。

保育内容として3歳児以上のお子さんに取り組んでいる異年齢保育では、日常的に一緒に過ごすことで大きくなることへのあこがれや小さい子を思いやる気持ちが育ち、子どもたちの関係性が成長に大きく関わっています。子ども同士の関わりから興味関心が広がり、遊びの内容が深まっていくこともありました。

3歳児未満の子どもたちにはより安心して過ごせるよう発達に応じた活動を提供することを意識し、個々に合わせた生活リズムで過ごせるように環境設定に配慮しました。

### 健康な体作りをしていく

健康な体作りを目的に体を動かす活動や外遊びを積極的に取り入れ日頃から薄着を心がけました。また、看護師を中心に手の洗い方指導や歯磨き指導などを行い、健康や衛生を意識する機会を設けました。

食育の取り組みの一環として野菜の栽培や、給食に使われるトウモロコシやソラマメの皮むきなどを行い食材への興味を持つ機会を設けました。季節感のある取り組みとして『梅干』や『味噌』を作り、食材の変化に興味を持つような取り組みも行いました。

### 子どもの成長発達について保護者との共通理解を深める

保護者の方に直接園の様子を知っていただける「保育参加」には88人にご参加いただきました。お父さんの参加が少しずつ増え、毎年参加する方も増えています。その他、行事への参加やお手伝いの機会など保育園に足を運んでいただき、園の様子を知っていただく機会を設けました。日々の保育の様子を写真を使ってお知らせしたり、懇談会では動画を見ていただくなど、より分かりやすくお子さんの様子を伝える工夫をしました。

個別な配慮を必要とされるチャレンジド保育対象児が7人在籍し、それぞれの保護者と信頼関係を築くことや関係機関との協力を丁寧に行い、関係者会議も行いました。必要な配慮点など職員間での情報の共有にも注意しました。

地域の子育て世帯向けの支援事業である園開放事業（あそぼう会）は入園前の園見学の場としても活用されました。その他にも年間を通して98人の見学者がみえました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）防犯訓練（3回）、消防署等立会訓練（火災1回、防犯1回）、布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進会議） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式、懇談会（0歳～2歳）、5歳児園外保育
5月	懇談会（3、4、5歳）、4歳児園外保育
6月	保育園運営委員会

7 月	お泊り保育（5歳児）
8 月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児） 大規模地震を想定した児童引取り訓練（市内小学校と同日）
9 月	世代間交流
10 月	運動会、個別面談（4歳児）
11 月	にいくらおやこフェスタ、個別面談（1、5歳児）
12 月	発表会（3、4、5歳児）、もちつき会、個別面談（0、2歳児）
1 月	小学校交流（北原小学校）、保育園運営委員会、個別面談（3歳児）
2 月	懇談会（全クラス）
3 月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため時間短縮、内容変更等で実施

## （２）児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）尿検査（11月）、乳児健診（隔月）
- ・ 歯科検診 6月
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師）

## （３）地域交流事業

- ・ 園開放 年30回実施・延べ参加親子76組
- ・ ミニ講座（予約制で3回実施） 延べ参加親子27組
- ・ 朝光苑交流（3歳児・2回実施）
- ・ 和光病院交流（4歳児・7回実施）※天候や感染症の流行で中止あり
- ・ 和光市 福祉の里交流（5歳児・4回実施）※天候や感染症の流行で中止あり
- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用（年2回・各100冊）
- ・ 絵本の読み聞かせ（ボランティア「ひまわりクラブ」8月を除く月1回）  
※新型コロナウイルス感染症対策で3月は中止
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動  
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

## （４）特別保育事業

- ・ 年末保育（12／30 3人）
- ・ 親子支援教室「クローバーグループ」年8回 ※新型コロナウイルス感染症対策で3月は中止
- ・ 保育参加（5／13～1／31 延べ参加人数88人）

## （５）実習生・ボランティアの受け入れ

- ・ 保育士実習 6校・8人
  - ・ 看護師実習 3人
  - ・ 栄養士実習 1人
  - ・ 裁判所調査官実習 2日間・4人
  - ・ 中学生・高校生職業体験学習 18人（市内中学校3校・和光高校）
  - ・ ボランティア 延べ41人（インターンシップ含む）
- ※ 入園前の事前見学 98人

### (6) 職員研修

- ・ 職場内研修 AED講習、エピペン講習、研修報告会  
 接遇研修（ほんちょう保育園と合同開催）
- ・ 外部派遣研修 県社協キャリアアップ研修（初任者、中堅、指導的職員）  
 リスクマネジメント、児童虐待、ハラスメント、ヒヤリハット  
 保育実技、保育内容専門研修、発達障害の理解  
 和光市主催保育士研修、見学研修（みつばすみれ学園、他保育園）  
 交換研修（ほんちょう保育園）

### 3 利用状況

年間開園日数 290日（内土曜日 50日）

月初日在籍児童数（育成児童／3歳児3人・4歳児3人・5歳児1人）（単位：人）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月
0歳児	5	5	5	5	5	5	7	8	8	8	8	8
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17
3歳児	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
4歳児	29	29	29	29	29	29	28	28	28	28	28	28
5歳児	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	27
計	127	127	127	127	127	127	126	127	127	127	127	127

平均利用率	：	102.5%	土曜日平均利用者数	：	18.2人
-------	---	--------	-----------	---	-------

※土曜日平均利用者数には運動会等の行事参加者が含まれる

※転居による退園 8月 1人（5歳児） 9月 2人（2, 4歳児各1人）

途中入園 10月 2人（0歳児） 11月 1人（0歳児）

# 令和元年度 朝光苑事業報告

## 1 事業の概要

令和元年度の事業計画において、以下に示す事業目標を掲げ運営を行いました。

### 利用される施設となる(利用率の向上)

利用率の状況は、介護老人福祉施設(特養)	(目標) 94%	(結果) 92.9%
短期入所生活介護	(目標) 86%	(結果) 77.1%
デイサービスセンター	(目標) 85%	(結果) 81.1%
居宅介護センター	(目標) 105件/月	(結果) 74件/月
地域包括支援センター	(目標) 132件/月	(結果) 129件/月

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)では、ショートステイとの情報共有や多職種連携による入所手続きの迅速化などにより、利用率は前年度と比較して2.3%の増加となりましたが、目標とした利用率の達成はできませんでした。施設の老朽化や多床室という施設環境などから待機者が減少傾向ということもありますが、公的な高齢者施設として社会の期待に応えるため、きめ細やかなサービスなど施設の魅力を最大限にアピールするとともに、ベッド稼働率向上策として利用者退所後に次の利用者の入所手続きを迅速化するなど、組織を挙げて取り組んでまいります。

短期入所生活介護(ショートステイ)では、頻回利用されていた方が当苑の特養に入所したことや季節性インフルエンザ発生の影響などにより、利用率は前年度と比較して8.9%減少し目標利用率を達成することができませんでした。利用率向上のため、空き情報を地域の居宅介護支援センターなど介護関係者へ情報提供するほか、緊急でショートを利用したい方の積極的な受入れなど、利用しやすい施設運営に取り組んでまいります。

デイサービスセンターでは、新規契約者の減少や当日体調不良での欠席が増えたことなどにより、利用率は前年度と比較して4.4%減少しました。利用者が通って良かったと思えるようなデイの魅力づくりが必要であることから、まずは利用者のニーズの再確認を行い、当苑ならではの魅力を積極的に打ち出してまいります。また、昨年度から始めた介護予防の観点から心身機能の維持に力を入れたサービスの提供などを引き続き行い地域で選ばれるデイサービスセンターを目指してまいります。

居宅介護支援センターでは、今年度も介護支援専門員の人員確保ができず、ケアプランの目標件数をクリアできませんでした。引き続き、人材確保に力を入れ人員補充し、目標件数を達成できるよう目指してまいります。

地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント業務のほか、地域包括ケアシステムの構築に向けた包括的支援事業として、生活支援サービス体制の整備事業、認知症施策の推進事業、地域ケア会議推進事業など様々な事業を市と連携して推進しました。引き続き、「地域包括ケア」を支える中核機関として、社会福祉士・主任介護支援専門員・看護師が連携し、介護予防サービス等の提供を含めた保健・医療・福祉に関する相談・支援等に包括的かつ継続的に対応してまいります。

### 介護及び看護職員の人材確保と定着促進

介護業界の人手不足がより深刻化しており、人材確保及び職員定着促進は急務となっています。人材確保として、特定処遇改善手当の導入や夜勤・オンコールなど諸手当を見直し、働きやすい環境づくりなどをはじめとして、市広報、求人サイト、新聞折り込みなどにより介護を担う専門職の確保に努めました。また、職員定着の促進については、働き方改革の施行に伴う職員のワークライフバランスに配慮した勤務体制の構築や、職員の意見をできるだけ業務に反

映させる取り組みなど職員のモチベーション向上を図っています。

なお、年度末現在の職員欠員状況は、特養で介護職員2名、看護師1名、居宅支援事業所のケアマネ1名などとなっており、引き続き職員確保に努めます。

## 2 各事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

入所者・利用者の健康管理に資する事業、季節感を感じてもらえるような行事やレクリエーション活動、また、各種委員会などを実施しました。

区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス	その他
月例事業	誕生会、注文買物、店屋物の日、理髪、音楽療法、口腔衛生指導(以上は月1回)、嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス(年18回)、新入所者ラインカンファレンス(年17回)、優先入所検討委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会(月1回)、感染症対策委員会(年4回)、給食委員会(年4回)、痰吸引安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会(年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	誕生会、PTリハビリ、体重測定、デイ定例会議(月1回)、事故防止対策委員会(年12回)、感染症対策委員会(年4回)	朝光苑運営会議(月1回)、衛生委員会(月1回)、苑だより発行(年4回)、地域包括定例会議(月1回)
4月	苑外活動(お花見散歩)、料理クラブ	お花見(新座緑道)	生活習慣病健診(4月～8月)
5月	菖蒲湯、端午の節句、苑外活動(りっくんランド)、苑外散歩、記念植樹、母の日	菖蒲湯、外出レク	苦情解決委員会、一斉緊急メール訓練 職員健康診断
6月	料理クラブ、ピアノ演奏会、ボーイスカウト交流会、苑外活動(りっくんランド)、父の日	梅ジュース作り	全体会議
7月	七夕飾り、ショッピング、保育園訪問(にいくら保育園)、すいか割り	外出レク、スイカ割り	火災訓練
8月	彩夏祭花火見学、料理クラブ		地震訓練
9月	朝光苑まつり(家族参加)、苑外活動(ぶどう狩り)、1中文化祭、市敬老式典	ブドウ狩り	ストレスチェック
10月	料理クラブ、歯科検診、胸部レントゲン撮影、ショッピング、苑外活動(巣鴨散策・見学)、4小1年生交流	サンマ焼き	夜間火災避難訓練
11月	苑外活動(黒目川散策)、苑外散歩、インフルエンザ予防接種	外出レク	職員インフルエンザ接種、緊急メール訓練
12月	年末お楽しみ会(家族参加)、ゆず湯、料理クラブ、ピアノ演奏会、1中演劇部交流会	年末お楽しみ会、ゆず湯	全体会議、地震訓練 職員健康診断
1月	正月遊び、書初め	餅つき	
2月	料理クラブ、豆まき	豆まき	防犯訓練(向陽園)
3月	ひな祭り		職員腰部健診、一斉緊急メール訓練

## (2) 利用状況

朝光苑各事業の令和2年3月31日現在の利用状況は以下のとおりです。

### ①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

(ア) 在籍状況等（単位：人、％）

（定員 75 人）

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	72	73	72	73	73	72	72	72	73	74	69	71	—
入所者	1	1	1	0	0	2	1	2	2	1	2	4	17
退所者	0	2	0	0	1	2	1	1	1	6	0	5	19
(内, 看取り)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	3	8
当月末	73	72	73	73	72	72	72	73	74	69	71	70	—
月別利用率	95.4	94.2	94.8	94.5	93.6	93.0	91.8	93.5	96.0	90.8	87.5	89.8	92.9

※（目標利用率：94％・年間利用率：92.9％）

(イ) 男女別構成

区分	男	女	計
人数（人）	15	55	70
割合（％）	21.4	78.6	100

(ウ) 介護度別構成

※平均要介護度：4.0

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	3	3	17	16	31	70
割合（％）	4.3	4.3	24.3	22.8	44.3	100

(エ) 年齢別構成

※平均年齢：85.7歳

年齢	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
人数（人）	1	14	34	20	1	70
割合（％）	1.4	20.0	48.6	28.6	1.4	100

(オ) 在苑期間別構成

※平均在苑期間：3年1ヶ月

期間	6ヵ月未満	6ヵ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	計
人数（人）	11	5	23	13	17	0	1	70
割合（％）	15.7	7.1	32.9	18.6	24.3	0.0	1.4	100

### ②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

(ア) 高齢者・障害者別利用状況等（単位：人、％）

（定員 14 人）

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用者	高齢者短期	39	39	34	38	33	36	37	37	29	35	33	—	
	介護予防	2	2	3	2	3	3	2	2	0	1	1	—	
	障害者短期	3	4	3	3	2	2	2	2	3	1	1	—	
延	高齢者短期	313	304	236	319	326	343	348	346	245	279	307	276	3,642

べ 人 数	介護予防	20	20	22	20	2	4	3	7	0	2	2	2	104
	障害者短期	24	18	29	22	18	17	14	14	17	7	13	13	206
	計	357	342	287	361	346	364	365	367	262	288	322	291	3,952
月別利用率		85.0	78.8	68.3	83.2	79.7	86.7	84.1	87.4	60.4	66.4	79.3	67.1	77.1

※1日平均利用者数：10.8人（目標：利用率86%・年間利用率：77.1%）

### ③デイサービスセンター事業

(ア) 利用状況等（単位：人、%）開所日／298日

(定員25人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用契約者	75	76	76	77	74	72	73	74	70	72	73	78	—
内、通所相当サービス	17	18	17	16	18	18	18	16	13	14	15	16	—
延べ利用者数	507	545	514	529	541	476	495	469	458	487	531	530	6,082
内、通所相当サービス	87	93	77	89	103	88	91	90	66	74	85	91	1,034
月別利用率	81.1	87.2	82.2	78.4	80.1	79.3	79.2	75.0	76.3	81.2	88.5	85.0	81.1

※1日平均利用者数／20.3人（目標：利用率85.0%・平均利用率：81.1%）

### ④居宅介護支援センター事業

(ア) ケアプラン作成件数（単位：件）

月 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数	76	74	74	78	71	69	73	79	76	77	75	72	894
介護予防支援件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
認定調査件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2

※(目標件数：105件/月・月平均：74件)

### ⑤地域包括支援センター

(ア) ケアプラン作成件数（単位：件）

月 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数	125	132	131	131	131	129	128	122	130	131	126	132	1,548
内、介護予防・日常生活総合事業ケアマネジメント	73	81	77	76	77	78	77	75	76	75	71	76	912
訪問型及び通所型サービスC	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	3	2	11
住宅改修理由書作成件数	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3

※介護予防支援件数(目標：132件/月・月平均：129件)

(イ) 包括支援センター業務

業 務	主な実績等
総合相談・支援業務	相談業務(8,949件) 地域支え合いネット講座(13回・参加者253人)

権利擁護業務	高齢者虐待研修
包括的・継続的ケアマネジメント業務	ケアマネージャー支援講座(1回)
介護予防ケアマネジメント業務 (第1号介護予防支援事業)	要支援者のケアプラン作成
在宅医療・介護連携推進業務	多職種による地域支援ネットワークの構築 在宅医療・介護連携推進会議(3回) 在宅緩和ケア地域連携構築検討会(2回)
生活支援体制の整備業務	生活支援コーディネーター配置(1名) 生活支援コーディネーター会議(13回) 地域民生委員情報交換(11回) 市民フォーラム(1回) よろず屋(第2層協議体)11回
認知症施策の推進業務	認知症サポーター養成講座(7回・参加者227人)、 オレンジカフェ(10回320人) 認知症初期集中支援チーム検討会(11回) 認知症地域支援推進員(10回) 認知症徘徊声かけ訓練 in 朝霞市役所(1回・参加者24人)
地域ケア会議	市主催地域ケア会議(11回) 包括主催地域ケア会議(4回)
一般介護予防事業	朝霞1中体操教室(9回・延べ参加者143人)

### (3) 外部協力・援助等

(ア) ボランティア受け入れ

区分	介護老人福祉施設(特養)	デイサービス
団 体	3団体(楽脳体操、しずくの会、すずらん)	1団体(十六酔会)
個 人	29人	8
活 動 内 容 等	延べ人数:653人 月平均:54人	延べ人数:29人 月平均:2人
レクリエーション活動	書道クラブ、詩吟クラブ、大正琴クラブ、踊り、体操、ギター演奏、ピアノ演奏、傾聴、ウクレレ演奏	書道、踊り、音楽活動、フルート演奏、マジックショー、落語、囲碁
生活支援活動	シーツ交換、おむつたたみ、洗濯物たたみ、縫い物、車椅子清掃、散歩の付添、行事手伝い	

※新型コロナウイルス対策により、R2.2.22～ボランティア活動中止

(イ) 地域との交流等

交 流	上の原町内会盆踊り・新年会、朝霞ボーイスカウト慰問、朝霞第1中学校文化祭、野田ピアノ、コーラスとフラダンス、向陽園ふれあいの集い作品出展、白百合幼稚園クリスマス交流、朝霞マンドリンアンサンブル、栄町保育園、和光市ほんちょう・にいいくら保育園(法人内交流)、ひだまりの森保育園、朝霞第4小1年生交流、朝霞第1中演劇部交流、朝霞8小ワークショップ講師、メリーポピンズ朝霞ルーム
体験ボランティア	桐朋高等学校

職 業 体 験	朝霞第1中学校、朝霞第4中学校、朝霞第8中学校
---------	-------------------------

#### (4) 実習生の受入れ

朝霞准看護学校(15人)	教員特例法介護体験(4人)	十文字学園女子大学(4人)
文京学院大学(1人)	合計 (24人、延べ158日)	

#### (5) 面会者数

延 べ 人 数	一日平均人数
4,497人	12人

※新型コロナウイルス対策により、R2.2.22～面会中止

#### (6) 人材育成

研修内容	参加人数
新任職員フォローアップ研修	2人
中堅職員キャリアパス研修	3人
中堅職員Ⅱキャリアパス研修	2人
チームリーダーキャリアパス研修	2人
計	9人